【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】令和5年7月4日(2023.7.4)

【公開番号】特開2022-169092(P2022-169092A)
【公開日】令和4年11月9日(2022.11.9)
【年通号数】公開公報(特許)2022-206
【出願番号】特願2021-74923(P2021-74923)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｍ　8/04701(2016.01)
Ｈ０１Ｍ　8/0432(2016.01)
Ｈ０１Ｍ　8/04007(2016.01)
Ｈ０１Ｍ　8/04746(2016.01)
Ｈ０１Ｍ　8/04694(2016.01)
Ｈ０１Ｍ　8/10(2016.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｍ　8/04701
Ｈ０１Ｍ　8/0432
Ｈ０１Ｍ　8/04007
Ｈ０１Ｍ　8/04746
Ｈ０１Ｍ　8/04694
Ｈ０１Ｍ　8/10　１０１

【手続補正書】
【提出日】令和5年6月26日(2023.6.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項５】
燃料電池の冷却システムであって、
燃料電池（１０）を冷却する冷媒が流通する冷媒流路（２１）と、
前記燃料電池を通過した前記冷媒を放熱させるラジエータ（２２）と、
前記ラジエータをバイパスして前記冷媒を流すバイパス流路（２５）と、
前記冷媒の温度に応じて、前記ラジエータおよび前記バイパス流路との間で前記冷媒の流通経路を選択するサーモスタット弁（２６）と、
前記燃料電池を通過した後の前記冷媒の温度を計測する冷媒温度センサ（２７）と、
前記燃料電池の目標温度と前記冷媒温度センサの検出温度との温度差が所定値以上の場合に、前記サーモスタット弁の前記ラジエータ側を一時的に全閉または全開させることで前記サーモスタット弁の温度ヒステリシス特性の影響をリセットさせた後に前記温度差を小さくする温度調整処理を実行する制御部（２８）と、
を備える燃料電池の冷却システム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
請求項５に記載の発明は、

燃料電池の冷却システムであって、
燃料電池（１０）を冷却する冷媒が流通する冷媒流路（２１）と、
燃料電池を通過した冷媒を放熱させるラジエータ（２２）と、
ラジエータをバイパスして冷媒を流すバイパス流路（２５）と、
冷媒の温度に応じて、ラジエータおよびバイパス流路との間で冷媒の流通経路を選択するサーモスタット弁（２６）と、
燃料電池を通過した後の冷媒の温度を計測する冷媒温度センサ（２７）と、
燃料電池の目標温度と冷媒温度センサの検出温度との温度差が所定値以上の場合に、サーモスタット弁のラジエータ側を一時的に全閉または全開させることでサーモスタット弁の温度ヒステリシス特性の影響をリセットさせた後に温度差を小さくする温度調整処理を実行する制御部（２８）と、を備える。